

科目名	解剖生理学 I (人体の構造・生命維持機能)	1 年次	1 単位 30 時間	講師
科目 目 目 標	1. 身体の構造と機能を細胞レベルで学び、その成長段階と人体の生命維持機能及び生殖機能を理解する			
回 数	教 育 内 容			
1～14	1. 身体の構造と成長発達 2. 細胞と組織 3. 血液の成分と機能 1) 血液のはたらき 2) 止血機構 3) 血液型 4. 間質液・リンパ・体液・電解質 1) 細胞外液の機能 2) 細胞外液の調節 5. 皮膚と粘膜 1) 皮膚の構造 2) 粘膜の構造 6. 生体の防御機構 1) 非特異的防御機構 2) 特異的防御機構 7. 生命の維持 1) ホメオスタシス 2) 体温とその調節 8. 生殖器の解剖・生理と生体の発生 1) 生殖器系の解剖・生理 2) 生殖細胞形成 3) 受精と着床 4) 胎盤と臍帯 5) 個体の発生			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	解剖生理学 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	解剖生理学Ⅱ (骨筋・循環器・呼吸器系)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目 標	1. 骨筋系、循環器系、呼吸器系の解剖・生理について学び、正常な人体および疾病をもった場合の変化と結びつけて理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 骨・筋系の解剖 <ul style="list-style-type: none"> 1) 骨格 2) 骨の連結 3) 骨格筋 4) 神経支配 2. 骨・筋系の生理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 筋の特性 2) 運動と身体の変化 3. 循環器系の解剖 <ul style="list-style-type: none"> 1) 循環器とは 2) 心臓 3) 血管の構造と種類 4) 胎児の血液循環 4. 循環器系の生理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 心臓の拍動 2) 血圧 5. 呼吸器系の解剖 <ul style="list-style-type: none"> 1) 呼吸器系とは 2) 上気道 3) 下気道・肺 4) 胸部内臓 6. 呼吸器系の生理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 換気 2) ガス交換 3) ガス運搬 4) 発声 			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	解剖生理学 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	解剖生理学Ⅲ (消化器・腎泌尿器・内分泌系)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目 標	1. 消化器系、腎泌尿器系、内分泌系の解剖・生理について学び、正常な人体および疾患理解の基礎とする			
回数	教 育 内 容			
1～4	1. 消化器系の解剖、消化器系の生理（口・咽頭・食道の構造と機能） 1) 口の構造と機能 2) 咽頭と食道の構造と機能 3) 咀嚼と嚥下 2. 腹部消化管の構造と機能 1) 胃の構造 2) 十二指腸の構造 3) 小腸（空腸・回腸）の構造 4) 大腸（結腸・虫垂・直腸・肛門）の構造 5) 栄養素の消化と吸収 6) 胃における消化 7) 小腸における消化 8) 大腸の機能 9) 消化管運動と反射			
5～7	1. 消化器系の解剖、消化器系の生理（膵臓・肝臓・胆嚢・胆道の構造と機能） 1) 膵臓の構造と機能 2) 肝臓と胆嚢・胆道の構造と機能 2. 腹膜と腸間膜			
8～11	1. 腎泌尿器系の解剖、腎泌尿器系の生理（腎・泌尿器の構造と機能） 1) 腎臓の構造と機能 2) 尿管の構造と機能 3) 膀胱の構造と機能 4) 尿道の構造と機能 5) 男性生殖器の構造と機能 2. 体液量の調節 1) 抗利尿ホルモンの作用 2) レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系 3. 尿の異常 1) 尿量の異常 2) 色調の異常と混濁 3) 比重とpH 4) タンパク尿と尿糖			
12～14	1. 内分泌系による調節 1) 内分泌系の解剖（内分泌とホルモン） 2) ホルモンの化学構造と作用機序 2. 全身の内分泌線と内分泌細胞 1) 視床下部一下垂体系 2) 甲状腺と上皮小体 3) 副腎 3. ホルモン分泌の調整 4. ホルモンによる調整の実際 5. 代謝の概要と機能 1) 消化と吸収のメカニズム 2) 肝臓における栄養素の代謝 3) 筋肉における栄養素の代謝			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	解剖生理学 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	解剖生理学IV (脳神経・感覚器系)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目 目 標	1. 脳神経系、感覚器の解剖・生理について学び、正常な人体および疾患理解の基礎とする			
回数	教 育 内 容			
1～10	1. 脳・神経系の解剖、脳・神経系の生理（神経系の構造と機能） 1) 神経細胞と支持細胞 2) ニューロンでの興奮の伝達 3) シナプスでの興奮の伝達 4) 神経系の構造 2. 脳・神経系の解剖、脳・神経系の生理（脊髄と脳） 1) 脊髄の構造と機能 2) 脳の構造と機能 3. 脳・神経系の解剖、脳・神経系の生理（脊髄神経と脳神経） 1) 脊髄神経の構造と機能 2) 脳神経の構造と機能 4. 脳・神経系の生理（脳の高次機能） 1) 脳波と睡眠 2) 記憶 3) 本能行動と情動行動 4) 内臓調節機能 5) 中枢神経系の障害 5. 運動機能と下行伝導路 6. 感覚器の解剖・感覚器の生理（感覚機能と上行伝導路） 1) 視覚 2) 聴覚 3) 味覚 4) 臭覚 5) 皮膚感覚 6) 深部感覚 7. 感覚器の解剖・感覚器の生理（耳鼻咽喉・頸部の構造と機能） 1) 耳の構造と機能 2) 鼻の構造と機能 3) 咽頭・喉頭の構造と機能 4) 甲状腺（頸部）の構造と機能			
11・12	1. 感覚器の解剖・感覚器の生理（歯・口腔の構造と機能） 1) 歯および歯周組織 2) 口唇および頬部 3) 口蓋 4) 舌 5) 口底・顎下部 6) 顎および顎関節 7) 口腔顎顔面の筋 8) 唾液腺			
13	1. 感覚器の解剖・感覚器の生理（皮膚の構造と機能） 1) 皮膚の構造 2) 皮膚の機能			
14	1. 感覚器の解剖・感覚器の生理（眼の構造と機能） 1) 眼球 2) 視神経・視路 3) 眼球付属器			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	解剖生理学 歯・口腔 眼	医学書院 医学書院 医学書院	耳鼻咽喉 皮膚	医学書院 医学書院
参考書				
留意点				

科目名	疾病と治療 (総論)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目標	1. 健康から疾病に至る変化の過程を日常生活との関連で理解する 2. さまざまな疾病がもたらす身体内部の変化を理解する 3. 診断に結びつく各種検査の内容を理解する 4. 様々な機能障害を治療する方法について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 疾病の成り立ち 1) 生体の反応と疾病の機序 2) 生体の回復力 3) 個体差と個人の反応 4) 人間の死 (1) 死の三徴候 (2) 脳死 5) 死後硬直 2. 異常状態の特徴 1) 細胞や組織に生じる変化 2) 異常状態に影響する個体の条件 ----- 3. 診断と検査 1) 臨床検査とは 2) 各種検査 (1) 一般検査 (2) 血液検査 (3) 生化学検査 (4) 内分泌検査 (5) 感染症検査 (6) 免疫学的検査 (7) 腫瘍マーカー (8) 生理学的検査 (9) 画像診断 (10) 病理検査 ----- 4. 治療法 1) 薬物療法 2) 食事療法 3) 運動療法 4) リハビリテーション療法 5) 放射線療法 6) 内視鏡的治療 7) 手術療法 8) 人工臓器 ----- 5. 疼痛緩和			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	病理学 医学書院 臨床看護総論 医学書院 別巻 臨床外科看護総論 医学書院		病態生理学 医学書院 別巻 臨床放射線医学 医学書院	
参考書				
留意点				

科目名	疾病と治療 I (運動機能障害と治療)	1 年次	1 単位 1 5 時間	講師
科目目標	1. 運動機能の障害とその治療について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～7	<p>1. 診察・診断の流れ</p> <p>1) 肢位または姿勢 2) 計測</p> <p>2. 検査</p> <p>1) 画像検査 2) 骨密度の測定</p> <p>3) 筋生検 4) 脊髄造影・椎間板造影</p> <p>5) 電気生理学的検査 6) 膝関節鏡検査・膝関節液検査</p> <p>3. 運動機能障害による残存機能リハビリテーション (治療処置)</p> <p>1) 保存療法</p> <p>2) 理学療法と作業療法</p> <p>3) 手術療法 (人工関節置換術他)</p> <p>4) 義肢と装具 (ギプス固定 牽引法)</p> <p>4. 活動や行動が制限されることにより発生する疾病と治療 (疾患の理解)</p> <p>1) 骨折・脱臼・捻挫および打撲 2) 骨粗鬆症</p> <p>3) 変形性関節症 4) 神経の損傷・疾患</p> <p>5) 筋・腱・靭帯などの損傷 6) 骨・関節の炎症性疾患</p> <p>7) 骨腫瘍および軟部腫瘍 8) 代謝性骨疾患</p> <p>9) 筋・および腱の疾患 10) 上肢・および上肢帯の疾患</p> <p>11) 脊椎の疾患 12) 下肢・および下肢帯の疾患</p> <p>13) 重症筋無力症 14) 筋ジストロフィー</p> <p>以下の内容を含む</p> <p>・疼痛、変形、しびれ、麻痺</p>			
8	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	運動器 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	疾病と治療Ⅲ (吸収・代謝・排泄機能障害と治療)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目標	1. 栄養摂取（食）の障害と治療について理解する 2. 肝機能・糖代謝、脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解する 3. 排泄機能の障害と治療について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～5	1. 消化・吸収機能障害と疾患 1) 摂取エネルギーの過不足 2) 必須栄養素の不足 3) 咀嚼・嚥下機能の障害の疾患と治療 4) 消化管機能障害と疾患（逆流性食道炎消化管の炎症と潰瘍 消化管の腫瘍） 5) 肝機能障害と疾患（肝硬変、肝臓の腫瘍）と治療 6) 膵液分泌障害と疾患（膵臓の炎症、膵臓の腫瘍）と治療 7) 胆汁分泌障害と疾患（胆嚢の炎症、胆嚢の腫瘍）と治療 8) 排便の障害（便秘・下痢）と治療 2. 消化器疾患の症状・徴候 1) 嚥下困難 2) おくび・胸やけ 3) 吐き気・嘔吐 4) 腹痛 5) 吐血・下血 6) 下痢 7) 便秘 3. 消化器疾患の診察と診断の流れ 1) 視診 聴診 打診 触診 直腸診 2) 血液検査データ 4. 消化器疾患の検査 1) 上部消化管内視鏡検査 2) 大腸内視鏡検査 3) 内視鏡的逆行性胆肝膵管造影 4) 上部消化管造影 5) 下部消化管造影 6) 直腸診 7) 消化・吸収機能検査 5. 治療処置（内科的治療） 1) 薬物療法 2) 食事療法 3) 化学療法			
6～9	1. 消化器疾患 1) 消化管の炎症と潰瘍 2) 消化管の腫瘍 3) イレウス 4) 腹壁、腹膜、横隔膜の疾患 2. 治療処置（外科的治療） 1) 手術療法 (1) 咽頭・喉頭摘出術 (2) 食道切除術 (3) 胃切除術 (4) 大腸切除術 (5) 腹腔鏡視下手術 (6) 人工肛門造設術 (7) 消化管手術後ドレーン挿入 (8) 胆道・胆のうドレーン挿入 2) 放射線療法			

10～15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部環境（腎）機能障害について <ol style="list-style-type: none"> 1) 体液量調節機能障害 2. 検査と治療 <ol style="list-style-type: none"> 1) 腎生検 2) 腎機能検査 <ol style="list-style-type: none"> (1) PSP 検査 (2) フィッシュバーグ濃縮試験 (3) 糸球体濾過量 (GFR) 3) X線撮影 4) 超音波検査 5) 核医学的診断法 6) 食事・運動療法 7) 急性期持続血液濾過透析 8) 維持・腹膜透析 9) 腎移植 3. 腎機能障害と疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 急性・慢性腎不全 2) ネフローゼ症候群 3) 全身性疾患による腎障害 4) 間質性腎炎 5) 腎血管性病変 6) 妊娠高血圧症候群 7) 発生・発育の異常 4. 泌尿器疾患の症状と病態生理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 排尿に関連した症状 2) 疼痛 3) 腫瘍・腫瘍 4) その他の症状 5. 検査と治療 <ol style="list-style-type: none"> 1) 尿流動態検査 2) 膀胱鏡検査 3) 膀胱切除術 4) 前立腺切除術 5) ホルモン療法 6. 排泄機能障害と疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 蓄尿・排泄機能障害と疾患 〔腎炎・慢性腎臓病、尿路の炎症、腎・泌路の腫瘍、尿路の通過障害、排尿障害〕 7. その他の障害と疾患（男性不妊症、勃起障害、その他の男性生殖器疾患）
16	試験
評価方法	筆記試験
教科書	消化器 医学書院 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 腎・泌尿器 医学書院
参考書	

科目名	疾病と治療Ⅳ (中枢神経・感覚機能障害と治療)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目標	1. 中枢神経機能の障害とその治療について理解する 2. 感覚機能の障害とその治療について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～6	1. 脳機能の障害と治療 1) 脳血管疾患 (脳梗塞) 2) 末梢神経障害 (糖尿病性ニューロパチー、ギラン・バレー症候群) 3) 筋疾患・神経筋接合部疾患 (筋ジストロフィー、多発性筋炎、重症筋無力症) 4) 脱髄・変性疾患 (多発性硬化症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)) 5) 脳・神経系の感染症 (脳炎、髄膜炎) 6) 二次的に意識障害、神経障害を起こす疾病 (中毒を含む) 7) 機能的疾患 (てんかん) 8) 認知症 (アルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症) 2. 主な検査と診断 1) 神経学的診察 2) 補助的検査法			
7～8	1. 疾患の理解と外科的治療、画像診断 1) 脳血管疾患 (くも膜下出血、脳出血、もやもや病) 2) 頭蓋内圧亢進症 3) 腫瘍 (脳腫瘍) 4) 脳脊髄液の異常 (水頭症) 5) 頭部外傷 6) 脊髄損傷			
9～11	1. 疾患の理解と治療、画像診断 1) 聴覚、平衡覚の障害 2) 鼻疾患 (嗅覚の障害を含む) 3) 咽喉頭疾患 4) 気道・食道・頸部疾患 5) 音声・言語障害 2. 主な検査と診断 1) 聴力検査 2) 平衡機能検査 3) 副鼻腔検査 4) 耳管通気検査 5) 内視鏡検査 6) 嗅覚検査 7) 味覚検査 8) 画像検査 9) 咽頭ストロボスコーピー			

12・13	<p>1. 疾患の理解と治療、画像診断</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の異常と疾患 2) 歯周組織の疾患 3) 口腔の疾患（粘膜、膿胞、腫瘍、唾液腺の疾患、先天異常を含む） 4) 咀嚼・嚥下機能障害 5) 顎関節の疾患 6) 神経の疾患 <p>2. 主な検査と診断</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口腔内検査 2) 画像検査 3) 一般臨床検査 4) 歯科・口腔外科的検査
14	<p>1. 疾患の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 機能の障害 2) 部位別の疾患 3) 外傷 <p>2. 治療・処置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 点眼法 2) 洗眼法 3) 屈折矯正 4) 視能矯正 5) 手術療法 <p>3. 主な検査と診断</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 視力検査 2) 屈折検査 3) 開瞼法 4) 眼底検査 5) 眼圧検査 6) 瞳孔検査 7) 視野検査 8) 色覚検査
15	試験
評価方法	筆記試験
教科書	<p>脳・神経 医学書院 歯・口腔 医学書院</p> <p>耳鼻咽喉 医学書院 眼 医学書院</p>
参考書	
留意点	

科目名	疾病と治療V (内部環境・生体防御機能障害と治療)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目 標	1. 内分泌機能の障害と治療について理解する 2. 体液調節機能の障害と治療について理解する 3. 自律神経の失調とその治療について理解する 4. 生体防御機能障害と治療について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～2	1. 内分泌・代謝の機能障害と治療 1) 甲状腺機能障害 (甲状腺の疾患、上皮小体の疾患) 2) 副腎機能障害 (副腎の疾患) 3) 内分泌機能障害 (多発性内分泌腫瘍 他) 4) 血糖調整機能障害 (1型糖尿病・2型糖尿病) 5) 肥満症とメタボリックシンドローム 2. 自律神経失調に伴う身体変化			
3～5	1. 体液の調節障害 1) 水と電解質の異常 2) 酸塩基平衡の異常 2. 症状とその病態生理 1) 緊急の場面で疑う所見 2) 一般診療で疑う所見 3. 検査 1) 内分泌疾患の検査 ①ホルモン負荷試験 ②ホルモン血中・尿中濃度測定検査 2) 代謝疾患の検査 ①糖負荷試験 (OGTT) 4. 治療 1) 甲状腺ホルモン療法 2) 甲状腺切除術 3) インスリン補充療法 4) インクレチン関連薬による治療 5) 糖尿病治療内服による治療			
6～10	1. 感染症とは 1) 感染症が成立する条件 2) 感染症の病態生理 3) 感染症の主な症状 2. 感染症の検査・診断 1) 診断の原則 2) 検査・診断・治療の流れ 3) 主な検査 3. 感染症の治療 1) 治療の原則 2) 抗菌薬 3) 抗真菌薬 4) 抗ウイルス薬 5) その他の治療法 4. 感染症の疾患の理解 1) ウィルス性感染症 2) 細菌感染症 3) 真菌感染症 4) HIV感染症と日和見感染症 5) 新興・再興感染症 6) 多剤耐性菌感染症 5. 免疫のしくみとアレルギー 6. アレルギーの検査・治療 1) 検査と診断 2) 薬物療法			

科目名	疾病と治療Ⅶ (小児に特徴的な機能障害と治療)	1年次	1単位 15時間	講師
科目目標	1. 小児看護でよく遭遇する機能障害とその治療について理解する。			
回数	教 育 内 容			
1～6	<p>1. 小児医療と機能障害</p> <p>1) 発達・発育過程で生じる機能障害</p> <p>2) 児童虐待</p> <p>2. 遺伝子・染色体異常と形態異常</p> <p>1) 先天性疾患 (先天代謝異常、糖尿病、内分泌疾患、血友病など)</p> <p>2) 染色体異常 (トリソミー、ダウン症候群など常染色体異常・性染色体異常)</p> <p>3. 新生児の特徴的な機能障害と治療</p> <p>1) 新生児の疾患 (新生児仮死、高ビリルビン血症など)</p> <p>2) 低出生体重児の疾患 (呼吸窮迫症候群など)</p> <p>4. 特徴的な呼吸機能障害と治療</p> <p>1) 上気道の炎症 (クループ症候群など)</p> <p>2) 気管支・肺・胸膜疾患 (急性気管支炎、肺炎など)</p> <p>5. 特徴的な循環機能障害と治療</p> <p>1) 先天性心疾患 (心室中隔欠損症、ファロー四徴症など)</p> <p>2) 後天性心疾患</p> <p>3) 川崎病</p> <p>4) 突然死 (乳幼児突然死症候群)</p> <p>6. 特徴的な運動機能障害と治療</p> <p>1) 先天性股関節脱臼</p> <p>2) 先天性内反足</p> <p>3) 先天性筋性斜頸</p> <p>4) 骨折、その他</p> <p>7. アレルギー症状を呈する健康障害と治療</p> <p>1) アレルギー疾患 (気管支喘息など)</p> <p>8. 特徴的な神経・筋の機能障害と治療</p> <p>1) 神経系の奇形 (水頭症など)</p> <p>2) けいれん性疾患 (てんかん、熱性けいれんなど)</p> <p>3) 脳性麻痺</p> <p>4) 筋疾患 (進行性筋ジストロフィーなど)</p> <p>9. 急性な症状を呈する健康障害</p> <p>1) 急性乳幼児下痢症、急性胃腸炎</p> <p>2) 急性神経疾患 (髄膜炎など)</p> <p>3) 造血器腫瘍 (急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病など)</p> <p>4) 腎疾患 (急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など)</p> <p>5) 不慮の事故 (誤飲・誤嚥、溺水、熱傷など)</p>			

	<p>10. 特徴的な皮膚・感覚機能障害と治療</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 皮膚疾患（母斑、アトピー性皮膚炎など） 2) 眼疾患（斜視など） 3) 耳鼻疾患（中耳炎、扁桃炎など） <p>11. 特徴的な感染症</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウイルス感染症（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、伝染性紅斑など） 2) 細菌感染症（百日咳、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群など）
7	<p>1. 外科的治療の対象となる健康障害</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 先天性横隔膜ヘルニア・鼠径ヘルニア 2) 先天性食道閉鎖症 3) 腸管無神経節症・ヒルシュスプルング病 4) 鎖肛・直腸肛門奇形 5) 胆道閉鎖症 6) 尿道下裂 7) 停留辜丸・包茎・夜尿症 8) 神経芽細胞腫 <p>2. 特徴的な消化機能障害と治療</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 唇裂・口蓋裂 2) 肥厚性幽門狭窄症 3) 腸回転異常症 4) 腸重積症 5) 急性虫垂炎
8	試験
評価方法	筆記試験、授業課題による評価
教科書	小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 小児臨床看護各論 医学書院 別巻 臨床外科看護各論 医学書院
参考書	
留意点	

科目名	疾病と治療Ⅷ (精神障害と治療)	2年次	1単位 15時間	講師
科目目標	1. 精神の障害とその診断および検査・治療を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～7	1. 精神障害者の抱える症状 1) 精神症状 2) 精神障害の診断と検査の種類 2. 主な精神障害の治療 1) 薬物療法 2) 電気けいれん療法 3) 社会復帰療法 4) 精神療法 3. 主な疾患の診療 1) 脳器質性疾患 2) 症状精神病 3) アルコール依存 4) てんかん 5) 統合失調症 6) 躁鬱病 7) 神経症と心因精神病 8) 人格障害 9) 児童・思春期に起こりやすい精神障害			
8	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	精神看護の基礎 医学書院 精神看護の展開 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	栄養学 (物質の代謝・食事療法)	1年次	1単位 30時間	講師
科目 目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 生体を構成する物質 1) 生化学の概要 2) 糖質 3) 脂質 4) タンパク質 5) 核酸 6) 水と無機質 7) ホルモン 2. 生体内の物質代謝 1) 代謝のあらまし 2) ビタミンと補酵素 3) 糖質代謝 4) 脂質代謝 5) タンパク質代謝 6) 核酸代謝 7) ポルフィリン代謝 3. 遺伝情報 4. 代謝障害 5. 健康つくりと食生活 1) ライフステージと栄養 2) 栄養状態の評価 3) 食生活指針と健康日本21 6. 臨床栄養 1) 病院食 2) 疾患別食事療法 3) 栄養補給法 4) 栄養指導 7. 栄養指導の実際			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	栄養学 医学書院 別巻 栄養食事療法			
参考書				
留意点				

科目名	微生物学	1年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を理解する 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する 3. 医薬品による健康障害を理解する 4. 感染症とその変貌を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 健康をおびやかす微生物 1) 微生物の分布と人体 2) 微生物の種類と特徴 3) 病原微生物の感染経路と潜伏期間 4) 病原微生物に対する化学療法と薬剤耐性 5) 病原微生物に対する予防処置と感染防御 2. 人体防御機構への看護の視点 1) 人体の感染防御機構と免疫反応 2) アレルギー疾患 3) 自己免疫疾患および類縁疾患 4) 臓器移植 3. 感染症 1) インフルエンザ 2) 多剤耐性ブドウ球菌感染症 (MRSA) 3) 腸管出血性大腸炎 4) 結核			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	微生物学 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	薬理学	1年次	1単位 30時間	講師																		
科目目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する																					
回数	学 習 内 容																					
1～14	1. 薬理学の概念 2. 薬理作用 3. 薬物に影響を及ぼす要因 4. 薬の有害作用 5. 薬物の取り扱いと保管方法 6. おもな治療薬・麻酔薬と薬理作用 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1) 感染症薬</td> <td style="width: 50%;">2) 抗がん薬</td> </tr> <tr> <td>3) 免疫治療薬</td> <td>4) 抗アレルギー薬</td> </tr> <tr> <td>5) 末梢での神経活動に作用する薬物</td> <td>6) 中枢神経系</td> </tr> <tr> <td>7) 心臓・血管系に作用する薬物</td> <td>8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物</td> </tr> <tr> <td>9) 物質代謝に作用する薬物</td> <td>10) 救急の際に使用される薬物</td> </tr> </table> 11) 皮膚科薬 7. 医薬品等の安全な使用 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1) 医薬品の安全管理対策</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>2) 禁忌</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 混合時の注意</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 抗がん剤の取り扱い</td> <td></td> </tr> </table> 8. 与薬方法と生体の反応 9. 薬物による副作用と中毒 10. 医薬品による健康被害 11. 服薬指導の実際				1) 感染症薬	2) 抗がん薬	3) 免疫治療薬	4) 抗アレルギー薬	5) 末梢での神経活動に作用する薬物	6) 中枢神経系	7) 心臓・血管系に作用する薬物	8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	9) 物質代謝に作用する薬物	10) 救急の際に使用される薬物	1) 医薬品の安全管理対策		2) 禁忌		3) 混合時の注意		4) 抗がん剤の取り扱い	
1) 感染症薬	2) 抗がん薬																					
3) 免疫治療薬	4) 抗アレルギー薬																					
5) 末梢での神経活動に作用する薬物	6) 中枢神経系																					
7) 心臓・血管系に作用する薬物	8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物																					
9) 物質代謝に作用する薬物	10) 救急の際に使用される薬物																					
1) 医薬品の安全管理対策																						
2) 禁忌																						
3) 混合時の注意																						
4) 抗がん剤の取り扱い																						
15	試験																					
評価方法	筆記試験																					
教科書	薬理学 医学書院 別巻 臨床薬理学 医学書院																					
参考書																						
留意点																						